◆まちづくり地域優良事例集◆

富合まちづくりセンター

想いをつなぐイルミネーション

〈取り組みの内容〉

富合商工会青年部では、これからの富合を担っていく子どもたちに地域の思い出を作ってほしいと、2021 年から、南区役所前のシンボルツリーを使ったイルミネーションを企画・運営しています。

イルミネーションの点灯式では、地域のみなさんが「富合の子どもたちのために」と、手作りされた 300 個のプレゼントの配布。「たから子ども園」による和太鼓、富合中吹奏楽部による演奏のほか、キッチンカーや長洲町より提供いただいた冬の金魚すくいなど、子どもたちが活躍し、楽しんでもらえるようなコンテンツを準備しました。たくさんの家族連れにお越しいただき、にぎやかなひとときとなりました。

〈取り組みの仲間集め〉

イベントの企画・運営は青年部が担い、地域からの手作りプレゼントのとりまとめは富合まちづくりセンターに協力いただきました。まちセンの呼びかけにより、子育て支援ネットワーク・ささえりあ富合・老人福祉センター・コミセン・にしくまもと病院リハビリ施設れんげ草ほか、多くの事業所や個人のみなさまから手作りプレゼントが届きました。

〈取り組みを始めようと思ったきっかけ〉

私が子どものころは夏祭りがあり、小さいうちは手を引かれて屋台を回った家族との思い出、中学に上がると地域の仲間たちとの思い出として今でも強く心に残っています。現在富合の人口は増えてきていますが、昔のように「地元」を意識することが少なくなった気がします。自分たちの記憶に残り続けている「地域の思い出」を子どもたちにも作ってほしいと、コロナ禍でも楽しめるイベントとしてイルミネーションを企画しました。

富合商工会青年部
代表 内藤　直 さん

〈取り組みによる効果〉

点灯式当日、子どもたちにプレゼントを配ると、とても喜んでくれました。また、イベント後のアンケートでは、「前年にもらったプレゼントを今でも大切に飾っています」とのうれしい回答があったり、作成に協力いただいた事業所からは「作る側もやりがいや喜びがあります」との声もいただいたりしています。このイルミネーションをきっかけとして、地域内に良い循環が生まれていると感じています。

〈今後の展望〉

「想いをつなぐイルミネーション」というタイトルのとおり、後世に続いていくイベントになっていってほしいです。過去富合町には、なくなってしまったイベントがあります。一度、なくなってしまうと復活が難しいので、誰がリーダーになってもこのイベントが回っていくような仕組みづくりを考えています。

今後は、青年部が富合のまちづくりの原動力となって、ほかの団体も巻き込んでいけると、ますます面白くなるのではないかと思っています。たとえば、イベントの場を使って、富合で生産された農産物を販売したり、富合の事業所による福祉相談ブースを設けたり…地域の資源を生かした、顔と顔が見える場づくりができたら面白そうだなと思っています。